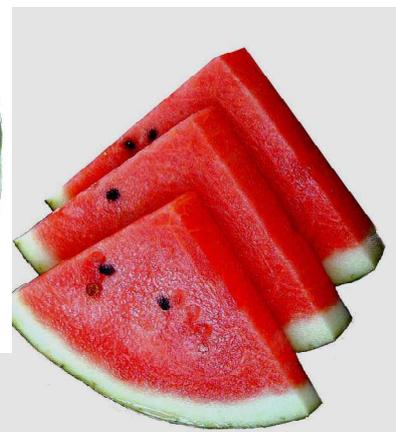


# あきた夏丸

(秋田県農業試験場育成 農林水産省品種登録 第15132号)

200粒詰



## (特長)

- 1 生育：茎葉の生育が旺盛で草勢は強い。葉が大きく節間はやや詰まる。花粉の出がよく着果は安定している。
- 2 熟期：糖度の上昇や果肉の発色は早い。旨味が完成するのは、露地普通栽培で開花後42～45日（積算気温で950℃）以上で「縞無双H」よりやや遅い。二次肥大で空洞が生じにくく、収穫期の幅が長く在圃性は高い。果面の縞模様に沿って生じるへこみが完熟果収穫の目安となる。
- 3 果実外観：果重は7～8kgと比較的大玉で、果形は正円形～腰高である。外皮は濃緑色、縞は太く鮮明である。
- 4 果肉：果肉の発色は鮮明な濃朱赤色、皮部との境目がはっきりとしており、カット販売に適している。糖度は11～13度と高く、果肉質は「縞無双H」と同様にめで歯ごたえがある。シャリ味が強いので食感が良い。
- 5 日持ち性：硬めの肉質であることから、日持ちが良い。（シャリ感が3週間程度持続）

## (栽培のポイント)

- 1 整枝栽培、トンネル移動式栽培、露地普通栽培のいずれにも適する。ただ、普通栽培では品質の揃った果実を生産するために、つる数、着果数を制限する仕立て方法が望ましい。
- 2 草勢が強めであるため、台木は「ドンK」等の草勢の弱い品種を用いる。
- 3 草勢を抑えるために、基肥施肥量は慣行品種「必勝」の3～5割減位が適当である。着果後は、つるの伸びが止まるので追肥は慣行と同等とする。
- 4 ビニールトンネルを使用する場合、換気を十分おこない、厚く切れ込みの多い葉を作るよう心がける。
- 5 着果節位は18～20節以上の3番花を基本とする。
- 6 収穫適期の幅が広いので、早どりを避け、十分な熟度を確保してから収穫する。

畑10aあたりチツソ成分

	基肥	追肥
整枝栽培	1.0～3.0kg	
移動式栽培	1.5～2.5kg	3.0～4.0kg
普通栽培	3.0～4.0kg	3.0～4.0kg

## (栽培暦)

作型	2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月		
	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
整枝栽培	○					◎						交									
トンネル移動式		○				◎						交									
普通栽培	4月植え		○			◎							交								
	5月植え			○			◎							交							

○は種 ◎定植 交交配 ■収穫

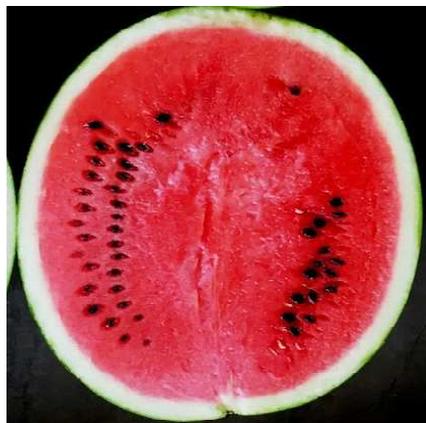
生産販売元：公益社団法人秋田県農業公社 農業振興部 種苗センター TEL 0185-45-2322  
 品種・栽培に関するお問い合わせ先：秋田県農業試験場 TEL 018-881-3330

# 早出し栽培専用の早生で糖度が高いスイカ「あきた夏丸」シリーズ

## あきた夏丸ワッセ

(秋田県農業試験場育成 農林水産省品種登録出願中)

200粒詰



### (育成経過)

7月上・中収穫の早出し栽培（ハウスまたは大型トンネルを用いた整枝栽培）の「あきた夏丸」は果肉が硬く糖度も上がりにくい特性がありました。そこで、品質の高い“あきた夏丸ブランド”のスイカを長期間継続して出荷するため、交配育種により、「あきた夏丸」の早生タイプF1品種を育成しました。

### (特長)

- 1 成熟日数は、積算温度で840℃（7月上旬収穫で43日前後、7月中旬収穫で40日前後）と、「あきた夏丸」（積算で920℃）と比較して4日程度早く収穫できます。
- 2 果実外観は、「あきた夏丸」とほぼ同等です。
- 3 「あきた夏丸」と比較して糖度が1度ほど高く、果肉は硬すぎず青臭さも残らないため美味しい果実が収穫できます。
- 4 普通栽培の「あきた夏丸」と組み合わせ、本県の大玉スイカを“あきた夏丸ブランド”の品種で長期継続して出荷することが可能です。

### (栽培のポイント)

- 1 早生品種の特性を発揮できる早出し栽培専用品種であり、7月下旬以降収穫の普通栽培では、果肉が軟らかくなりすぎ、日持ち性も劣ることから、従来の「あきた夏丸」を用います。
- 2 草姿および草勢は「あきた夏丸」とほとんど変わらないため、施肥量等の栽培方法は「あきた夏丸」に準じます。また、定植から開花までに要する日数も「あきた夏丸」と差がありません。
- 3 早生品種の特性上、収穫適期幅は「あきた夏丸」と比較して短く、収穫遅れによる空洞果の発生には十分注意します。

### 栽培暦（早出し栽培）

作型	月	2月			3月			4月			5月			6月			7月		
	旬	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
ハウス整枝栽培		○	△	—	—	◎	—	—	—	交	—	—	—	—	—	—	□	—	
大型トンネル整枝栽培		—	○	△	—	—	◎	—	—	—	交	—	—	—	—	—	□	—	

○:は種 △:接ぎ木 ◎:定植 交:交配 □:収穫

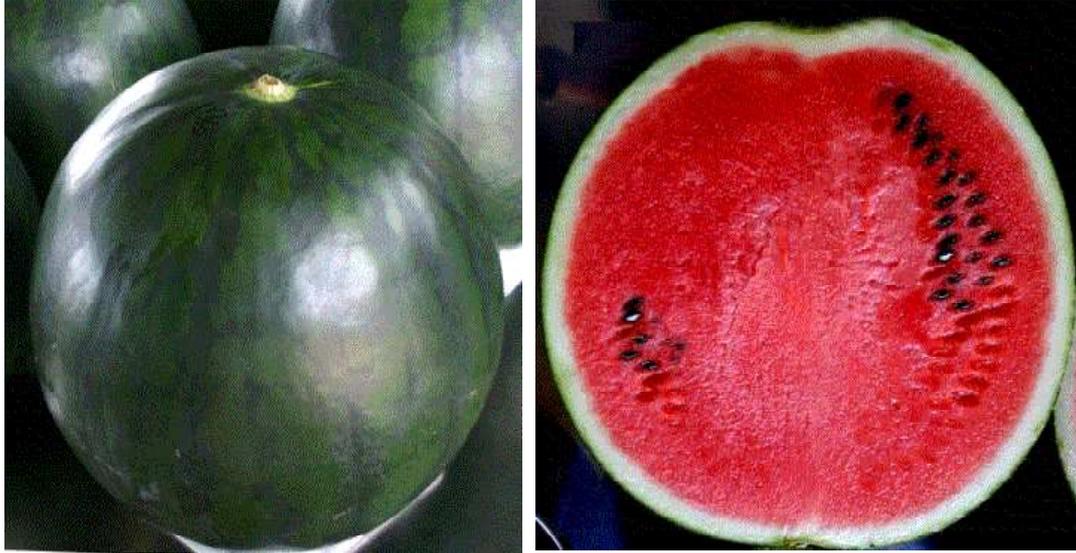
販売元：公益社団法人秋田県農業公社 農業振興部 種苗センター TEL 0185-45-2322

品種・栽培に関するお問い合わせ先：秋田県農業試験場 TEL 018-881-3330

# 秋農試 38号

(秋田県農業試験場育成 農林水産省品種登録 第22168号)

200粒詰



## (特長)

- 1 果実外観：外皮は濃黒緑色で、これまでのスイカにはない外観である。果重は7～8kgと比較的大きく、果実の揃いが良好である。
- 2 果肉：果肉の発色は鮮やかな桃色で、糖度が高く、硬めで歯ごたえとシャリ感がある。食味が良好で、カット販売に適している。
- 3 日持ち性：硬めの肉質であることから、糖度が高く、果肉はある。シャリ感は室温でも2週間ほど持続する。

## (栽培のポイント)

栽培特性は「あきた夏丸」と同様で、施肥量や成熟日数も同じである。

## 栽培暦

作型	2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			
	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	
整枝栽培	○					⊙						交									■	
トンネル移動式		○				⊙						交									■	
普通栽培	4月植え		○				⊙						交									■
	5月植え			○				⊙						交								

○は種 ⊙定植 交交配 ■収穫

販売：公益社団法人秋田県農業公社 農業振興部 種苗センター (TEL 0185-45-2322)

品種・栽培に関するお問い合わせ先：秋田県農業試験場 (TEL代表 018-881-3330)

# あきた夏丸アカオニ

(秋田県農業試験場育成 農林水産省品種登録 第24832号)

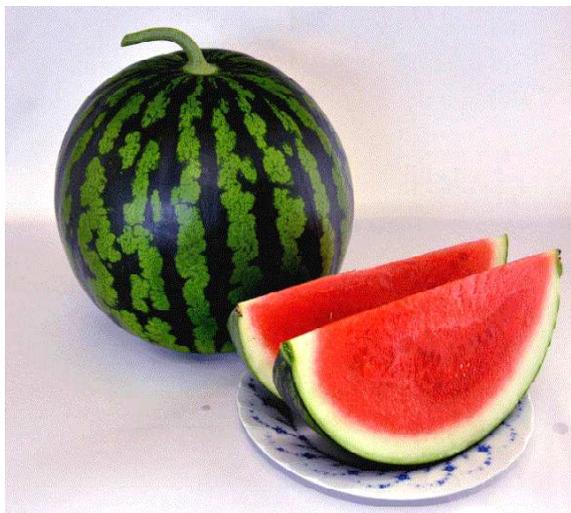
100粒詰

## (育成経過)

食味の良い あきた夏丸 の片親を倍数化し、タネが少なく改良した3倍体のF1新品種です。

## (特長)

- あきた夏丸 の長所をそのままに、黒い種が子がほとんどなく、そのまま食べられます。
- 通常の種子有リスイカより糖度が1～2度高く、極めて甘いです(糖度13～15度)。
- 果肉が硬く、シャリ感が強く、日持ちが良いです。3倍体としては、空洞は出にくいです。
- 果形が球形で変形しにくいです。縞が太く濃く、鮮明ではっきりしていて迫力があります。
- 白い「しいな」種子は、他品種と同様に点在しますが、食べられます。



## (栽培のポイント)

- 「あきた夏丸」より施肥量を2～3割減じます。
- 栽培方法は、大型トンネル(270cm以上)を用い、整枝栽培かトンネル移動式栽培に限ります(1株2～3果どり)。
- 低温下でつるが伸びにくいので、定植は5月に入ってから行います。
- つるの勢いが強いので、着果節位までの孫づるは全て除去します。
- 交配には、必ず他品種(2倍体)の花粉を用い、人工交配を行います(アカオニの花粉は受粉能力がありません)。
- 着果後に、草勢が強くと、孫づるが旺盛な場合は、早めに孫づるを除去して草勢管理に努めます。

## (栽培暦)

作型	月	3月		4月			5月			6月			7月			8月	
	旬	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	
大型トンネル(整枝または移動式)		○	△			◎			∩	交							
			○	△			◎			∩	交						

○:は種 △:接ぎ木 ◎:定植 ∩:トンネル移動(移動式の場合) 交:交配 □:収穫

## (育苗のポイント)

- 過湿厳禁です、地温は30～32℃を確保して一斉に早く発芽させます(種皮が厚く、発芽の力が弱いので、発芽に時間をかけると腐敗しやすいです)。
- 発芽率は90%程度ありますが、奇形や貧弱な個体があるため、接ぎ木に使える苗は70%程度です。種子を準備する場合は多めに用意してください。

生産販売元:公益社団法人秋田県農業公社 農業振興部 種苗センター Tel 0185-45-2322  
 品種・栽培に関するお問い合わせ先:秋田県農業試験場 Tel 018-881-3330

# タネが少なく、糖度が高い黒皮の大玉スイカ

## あきた夏丸クロオニ

(秋田県農業試験場育成 農林水産省品種登録 出願中)

100粒詰

### (育成経過)

黒皮で高級感があり、市場性の高い大玉品種「秋農試38号」(「あきた夏丸ブラック」)をより甘く、種子を少なく改良した3倍体のF1新品種です。品種名は、縞皮の「あきた夏丸アカオニ」と対をなす黒皮品種というイメージから名付けられました。



### (特長)

- 1 黒い種子がほとんどなく、そのまま食べられます。
- 2 糖度は13度以上と「秋農試38号」(「あきた夏丸ブラック」)より1~2度高く、シャリとした食感で、食味が優れます。
- 3 果肉が硬く、シャリ感が強く、日持ちが良いです。3倍体としては、空洞は出にくいです。
- 4 果皮色が濃黒緑で、揃いの良い外観です。3倍体品種にありがちな果実の変形がほとんど発生しません。
- 5 白い「しいな」種子は、他品種と同様に点在しますが、食べられます。

### (栽培のポイント)

- 1 「あきた夏丸」や「あきた夏丸ブラック」より施肥量を2~3割減じます。
- 2 栽培方法は、大型トンネル(270cm以上)を用い、整枝栽培かトンネル移動式栽培に限ります(1株2~3果どり)。
- 3 低温下でつるが伸びにくいので、定植は5月に入ってから行います。
- 4 つるの勢いが強いので、着果節位までの孫づるは全て除去します。
- 5 交配には、必ず他品種(2倍体)の花粉を用い、人工交配を行います(クロオニの花粉は受粉能力がありません)。
- 6 着果後に、草勢が強く、孫づるが旺盛な場合は、早めに孫づるを除去して草勢管理に努めます。

### 栽培暦

作型	月	3月			4月			5月			6月			7月			8月	
	旬	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中		
大型トンネル(整枝または移動式)		○	△			◎			∩	交								
			○	△			◎			∩	交							

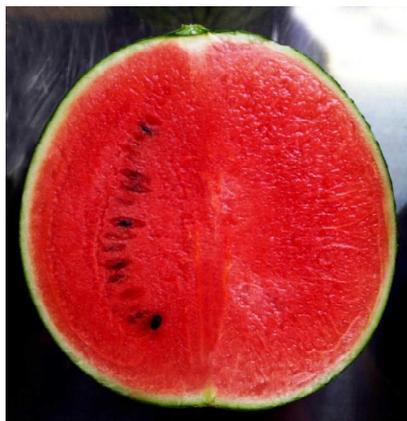
○:は種 △:接ぎ木 ◎:定植 ∩:トンネル移動(移動式の場合) 交:交配 □:収穫

### (育苗のポイント)

- 1 過湿厳禁です。地温は30~32℃を確保して一斉に早く発芽させます(種皮が厚く、発芽の力が弱いため、発芽に時間をかけると腐敗しやすい)。
- 2 発芽率は高いですが、奇形や貧弱な個体があるため、接ぎ木に使える苗は70%程度です。種子を準備する場合は多めに用意してください。

# あきた夏丸千ッチェ

(秋田県農業試験場育成 農林水産省品種登録 第24833号) 100粒詰



## (育成経過)

小玉種と大玉種を交配して選抜した小玉サイズのF1品種です。大玉に近い食味の小玉です。

## (特長)

- 1 これまでの小玉のイメージを変える肉質です。硬めで大玉に近く、シャリ感が強く美味しいです。日持ち性が抜群で、可食期が長いです(室温で2週間程度)。
- 2 果肉色が濃赤色で糖度が12~13度と高いです。
- 3 平均果重が3kg前後で小玉スイカとしては肥大します。果形が球形に近く、濃緑果皮に太い縞が美しく入ります。
- 4 裂果しにくく、果面はなめらかで、果面にヒビが入りません。
- 5 熟期は、ハウス早熟栽培で開花後38日程度、育苗後ハウス栽培では32日程度です。
- 6 草勢が強く、大葉で、つるが太く節間は短めです。着果は安定しています。

## (栽培のポイント)

- 1 必ずユウガオ(かんぴょう)に接ぎ木して栽培します。草勢が強いため、台木品種は弱勢台木が適しています。
- 2 草勢が強めのため、施肥量は従来品種より少なめとします(3~5割減)。
- 3 株間70cm、6本仕立て4果どりを基本とします。
- 4 雨よけ可能なハウスまたはトンネル栽培専用品種です。露地普通栽培には向きません。

## 栽培暦

作型	月	2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月	
	旬	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	
ハウス早熟			○		△		◎				交										
トンネル整枝				○		△		◎						交							
トンネル移動式					○		△		◎					交							
育苗後ハウス							○		△		◎				交						

○:は種 △:接ぎ木 ◎:定植 交:交配 □:収穫

生産販売元:公益社団法人秋田県農業公社 農業振興部 種苗センター TEL 0185-45-2322  
 品種・栽培に関するお問い合わせ先:秋田県農業試験場 TEL 018-881-3330